

窪田委員（自民議連）

平成30年3月8日

教育長答弁実録

（教育委員会）

（問）広島叡智学園における英語力の育成について

どの生徒も語学の面で取り残されることのないよう、適切にフォローしていく必要があると考えるが、授業においてだけでなく学校生活全体を通じて、どのように英語力を育成しようと考えているのか、教育長に伺う。

（答）

広島叡智学園では、少人数による授業を行ったり、オンラインによりまして外国人と個別に英会話を行ったりするなど、生徒の個々のレベルに応じた丁寧な指導を行い、実践的なコミュニケーション能力を育成したいと考えております。

中学校から段階的に英語力を育成するために、Web会議システムなどを活用した海外の学校との交流や、県内の大学等の留学生との交流の場を設けたり、長期休業期間を利用したイングリッシュキャンプや海外への研修などを検討しております。

また、海外からの生徒が入学する平成34年度からは、学校生活のみならず放課後活動や寮生活におきましても自然と英語で会話できる環境が整い、中高6年間を通して、英語力を育むことができるものと考えております。